

広報

おおえ

仲良く楽しく力強く！

大江幼稚園の餅つき大会が、11月18日に開かれました。餅つきは昭和51年から続く恒例行事で、現在は石臼と杵を使っておこなわれています。

園児たちは保護者と一緒に一生懸命杵を動かし、元気な掛け声と餅をつくりズミカルな音が園庭に響きわたりました。



謹賀新年

平成30年

1

No. 683

平成30年

新春の ごあいさつ



新しい年を迎えました。旧年中のご指導・ご厚情に感謝申し上げます。今年もよろしくお願い申し上げます。

去る12月12日前後の雪で一気に冬景色になった「大雪警報」の吹雪の中、学校に行く児童に交通安全指導員の方が手を差し伸べ横断歩道を渡す姿がありました。杖をついたお年寄りを、役場エレベーター前までのスロープになにげなく寄り添いながら、ガイドする青年、お二人のお顔には間違いなく「輝き」を感じ取れました。朝夕の登校下校時に、大きな明るい声できらきらと目を光らせた小学生の「挨拶」は「あまり頑張らないで、頑張れよー」の大人へのメッセージだ。こうした日々の普通の生活に、町民歌の一番が謳われている「この町をわれらは愛す」の一節が電光のように頭を走ることも少なくない。

生産・加工・流通・販売・サービス……販路を町外に求めてITを駆使し、果敢に挑戦する青年、世界を見てのビジネス展開のリーダー、伝統技術の伝承に生涯を懸けた師匠、ものづくりは人づくりの経営哲学の先達諸姉姉、不順極まった天候の中で安全安心なおいしい食べ物を

つくる生産者の方々……大江町を支えていただいているご労苦には、先取り、知恵比べ、価格破壊、市場経済の千変万化、労働力不足等々の諸課題を乗り切ってきた信念が見え隠れし、町民歌「この町にわれらは励む」そのものだ。だからこそ、大江町で成されているすべての事業には、70年ほど前、小学校が新築されたときに小学生が詠んだ一句「村人の汗玉固まり 建つ学校」の思いが、確かに重なっているのは間違いない。

前年の一部を、時には全部を重ねて、手直しと踏襲を繰り返しながら、大江町は事業の展開をし、60周年を迎えようとしています。段取り半分で完成に至る事業が大半であります。先人の高い予見性あればこそであります。中央公民館は、着々と機能を発揮しはじめました。町民各位の応援参加の力の強さのためだと思われ、感謝とお礼を申し上げます。検討に、多くの時間を要した保育園の統合が、姿として見えて、新しい仕組みの中で運営される骨組みが出来上がりがつつあります。小異を捨てて大同につかれてここまでまとめていただいた町民の皆様には感謝申し上げます。5年前の激甚な災害も、神通



峡の完成を最後に復旧を果たしました。4カ所の月布川の強靱化の工事も、順調に進んでいます。大江西川線・藤田堂屋敷線・小漆川巨海院線などのアクセスインフラ整備も、形が見えています。県道や月布川関連の整備は、吉村美栄子県知事をはじめ関係各位の大江町に寄せるご高配の賜物と思われ、心から感謝申し上げます。長年の悲願であった就労の場としての企業の誘致と工業団地の造成が、ほぼ完成いたしました。地権者の皆様方、関わりを親身になって「我が事」のようにご協働いただきました関係各位に、感謝申し上げます。旧きらやか銀行の保存、利活用についても具体的になり、リフォームが始まっています。共々の幸せと繁栄を願う「共生教育」を推進する教育委員会、農業の振興に各般にわたって事業の実践をおこなっている農業委員会・土地改良区・JAさがえ西村山、そして商工会などの大同団結には、大江町議会議員の強力なご指導と後押しを受けて、大江町の明

日に向かっていく力強さが含まれています。日本国が県内唯一の重要な文化的景観の町に選定した確たる根拠は「この町は、われらの誇り」と確かな自信を持って、町民歌三番で明るく声高らかに歌っているおおえ町民一同の、「精神風土・文化の誇り」そのものであります。保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学・専門学校・社会人に進む「夢と希望」にあふれた「新人」の初々しい力を、町民の皆様も「我が事・丸ごと」共有させていただくような、素晴らしい、健康な良い年になりますようお祈りいたします。町民歌に詠み刻んだ先人の思い——「愛」と「励み」と「誇り」——を胸に抱きながら。



大江町長

渡邊 兵吾



平成18年
生まれ

柏倉 奈菜さん

美郷

今年は6年生として、しっかり勉強をがんばります！

あとは、家でときどき料理をしますが、もっと上達して本格的な料理もできるようにしたいです。プリンとか、おいしいスイーツが作れるようになりたいな。

今年はこんな 年にしたい！

今また暦が切り替わり、新しい1年がスタートしました。今年^{イヌ}は平成30年、干支は戌。町内の年男・年女の皆さんは、例年とはまた違った気分でお正月を迎えているのではないのでしょうか。

そこで、平成18年から大正11年まで、あらゆる世代のイヌ年生まれの皆さんに、年男・年女としての抱負や展望、夢の数々を語っていただきました！



イヌ年生まれ
大集合!

昭和9年
生まれ



阿部 聡子さん

葛沢

学生の時以来、本を読む機会があまりありませんでしたが、町立図書館ができてからはいろいろな本を借りて読むようになりました。今年^{イヌ}はもっとたくさん本を読みたいと思っています。

健康のためには適度に体を動かすことが大切なので、グラウンドゴルフも続けていきたいですね。

平成6年
生まれ



井上 悠さん
晴菜さん

蛍水

悠さん／今年も仕事で忙しい毎日になると思いますが、体を壊さないように、健康第一でがんばっていきたいです。

晴菜さん／娘も連れて、家族一緒に旅行に行ってみたいですね。温泉にゆっくりつかりたいです。

昭和21年
生まれ



高橋 義春さん

9区

家業の名義は息子に譲りましたが、忙しいときは私も手伝って一緒に仕事をしています。若者たちと笑い話などをしながら過ごしていると、自分まで若返ってくるような気がしますね。

今年も体が続く限り、若い人たちと一緒に仕事をして、家庭にも貢献をしていきたいです。

昭和33年
生まれ



室岡 伸一さん
友子さん

市の沢

伸一さん／今年で仕事もひと段落となるので、集大成のつもりでしっかりやって、有終の美を飾りたいです。

後継者に仕事を引き継いだら、後は何といたっても健康に気をつけて過ごすことでしょうかね。

友子さん／今まではどこかへゆくと出掛ける機会もあまりなかったので、今年は家族で温泉にでも行って、のんびりと過ごす時間がほしいですね。

佐竹 とき子さん

下モ原

昭和21年
生まれ

夫の山の手入れを手伝っています。山の仕事は大変なこともあります、80歳まで元気で続けていけたらと思っています。

町内でおこなわれる講演会やイベント、スポーツ教室などにも、たくさん参加して楽しみたいです。



平成18年
生まれ



菊地 陽生さん

1区

今年は、いよいよ6年生。最上級生として、しっかりがんばろうと思います。ミニバスケットボールも一生懸命練習して、大会でも上位に入れるようにしたいです。

そして、今年も元気に遊びたい！！

良い一年でありますように

黒川 源太さん
厚子さん
大護さん

諏訪原

源太さん／仕事の中で、今まで担当していなかったことにも挑戦して、自分の視野を広げたいです。

厚子さん／子どもが4人、4世代10人の家族で暮らしています。みんなが健康で、笑顔で幸せに過ごせるような1年になるといいですね。

大護さん／今年は6年生で縦割り班の班長になるので、下級生の面倒をしっかりみていきたいです。

昭和57年
生まれ



平成18年
生まれ

昭和45年
生まれ



岡崎 博典さん

藤田

藤田地区内でピザ店を始めて、今年2年目を迎えます。おかげさまで、昨年はオープン早々から幅広い年齢層の皆さんに来店していただきました。

1年目の経験や反省点を踏まえ、今年はずっともっと皆さんに愛されるようなお店にしていきたいですね。

村山 由佳さん

月が丘

これからも健康で毎日、元気に仕事をしていきたいです。皆さんが健やかに過ごせるように、今年も健康飲料をお届けしていきます！

昭和45年
生まれ



NewYear 2018

今年も皆さんにとって

大正11年
生まれ



高橋 忠夫さん

檜山

庭木の手入れをしたり、家の周りを散歩したり、読書をしたりするのが日課になっています。

家族にあまり世話をかけないように、体が動く限りは自分で何でもできるようにしたいので、今年も元気で過ごしたいですね。

■舟唄のふるさとで節目の民謡番組 ～NHKラジオ番組「民謡をどうぞ」公開収録～

中央公民館「ぷくらす」落成1周年を記念して町とNHK山形放送局が企画した、NHKラジオ番組「民謡をどうぞ」の公開収録が、12月17日に中央公民館でおこなわれました。

この日の収録は、同番組の放送2800回目という節目でもあり、数多くの名曲を歌いあげてきた民謡歌手の原田直之さんと早坂光枝さんがゲストとして登場。司会は、アナウンサーで落語家の六華亭遊花さんという顔ぶれで番組が収録されました。

民謡ファンにとってはおなじみの番組が地元で収録されるとあって、当日は会場の町民ホールがほぼいっぱいとなる約170人の観覧者が来場。本町が発祥の地であり、番組とも関わりの深い最上川舟唄をはじめ、民謡ファンならずとも聴きなじんだ名曲を、原田さん、早坂さんが見事な歌声で披露し、客席から大きな拍手が送られました。また、この日は節目の放送回ということもあって、番組制作秘話の紹介などさまざまな演出がなされ、会場は大いに盛り上がりました。

この日収録された番組は、1月19日、26日の2回にわたって、12時半からラジオ第1およびNHK-FMで放送される予定です。



▲番組名のコールで盛り上がる会場の様子



▲ゲストの原田直之さんと早坂光枝さん



▲司会の六華亭遊花さん

職員採用試験について
平成30年度4月採用予定の職員については、9月17日に1次試験、10月29日に2次試験をおこない、最終的に上級行政3人と初級行政2人、社会人経験の上級行政1人の計6人

行政報告

平成29年第4回大江町議会定例会が、12月5日から7日の会期で開かれました。
今定例会では、各会計の補正予算や条例の制定・改正などについて審議され、原案どおり可決・承認されました。その内容の一部をご紹介します。

議会 第4回定例会 town council



を合格者と決定しました。

大江町社会福祉協議会の一部事業移管について

これまで大江町社会福祉協議会が実施してきた訪問介護事業および居宅介護支援事業について、平成30年4月1日から社会福祉法人碧水会に事業移管する契約を、10月31日に締結しました。

これにより、社会福祉協議会は「介護予防」の推進機関としての施策を展開していくこととなります。

条例制定

現在改修工事を進めている旧きらやか銀行大江支店の名称を「大江町まちなか交流館」とし、交流人口の拡大と地域の活性化に役立てるため、「大江町まちなか交流館の設置および管理に関する条例」を制定することが可決されました。

補正予算

平成29年度一般会計補正予算（第4号）が原案どおり可決され、歳入歳出にそれぞれ4740万円を追加し、予算総額は53億4410万円となりました。

藍綬褒章 (更生保護功績)



小國 登喜子さん (7区)

平成29年秋の叙勲において、保護司の小國登喜子さんが、多年にわたる更生保護功績により、藍綬褒章を受章されました。

小國さんは、平成4年12月に保護司に委嘱され、以後約25年間にわたって更生保護や犯罪を予防するための活動に取り組んでこられました。また、定期研修会などに積極的に参加し、専門知識の習得や事例研究などに励まれました。そして現在も、保護司として各種活動を続けられています。

小國さんは今回の受章について「ただただ夢中で取り組んでいるうちに褒章を頂くことになり、とても驚いています。これまで活動を続けることができたのも、ともに話し合い、勉強してきた同じ保護司の皆さんや、活動を理解し協力してくれた家族の存在があってのことだと思います」と話されていました。

地方自治功労者表彰



片桐 國男さん (1区)

地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰において、多年にわたる寄付により町の文化振興に貢献された片桐國男さんが、地方自治功労者として表彰されました。

片桐さんは、教育や文化の充実のために、継続的に町への寄付を寄せられ、町ではこの寄付金をもとに教育文化振興基金を創設。これにより数多くの演奏会などが開催され、町民の皆さんが本格的な芸術に触れる機会が生まれました。

また、昭和50年から6年間町立公民館運営審議会委員を務められたほか、平成17年度から10年間の永きにわたって町振興審議会委員を務められ、生涯学習や振興事業の発展にも大きく貢献されました。

片桐さんは「多くの方々の協力のおかげで、このたび表彰を受けることができました。今後も体が続く限りがんばっていきたいです」と話されていました。



11/28 優美な音色に浸るひととき

町教育委員会主催の「ふれあいコンサート～弦楽四重奏の夕べ～」が、11月28日にふれあい会館で開催されました。この演奏会は、ピオラ奏者の倉田譲さん（みなみ）が所属する山形弦楽四重奏団を迎え、多くの方に弦楽器の音色に生で触れてもらおうと開かれたものです。

プログラムは「大江町民歌」に始まり、クラシックの名曲や民謡のアレンジ、映画やアニメの主題歌など、バラエティに富んだ曲目で構成。来場者は、会場内に響きわたる弦楽器の優美な音色とハーモニーに聴き入っていました。



12/3 ネット越しに火花を散らす！

第49回大江町ママさんバレーボール大会が、12月3日に体育センターで開催されました。今年7チームが出場し、バレーボールを愛好する女性の皆さんが、日頃の練習の成果を発揮すべく試合に臨みました。

大会は、9人制ルールで2つのグループに分かれてのリーグ方式でおこなわれました。各試合ともスパイクとレシーブの応酬が続く熱戦が展開され、観戦する応援団の声援も白熱。各グループ1位同士の決勝戦では、本郷東チームがフルセットの接戦を制し、優勝を果たしました。



12/10 ケーキもツリーもゴージャスに

町子ども会育成会連合会による「子ども会クリスマスパーティ」が、12月10日に中央公民館でおこなわれました。参加した子どもたちはまず、クリスマスケーキのデコレーションに挑戦。グループで協力しながら、生クリームを丁寧に塗ってケーキをきれいに切り分け、お菓子屋さん顔負けのケーキを完成させていました。

その後、子どもたちは2つのクリスマスツリーの飾りつけをおこないました。色とりどりの飾りや電飾で装飾されたツリーは中央公民館内に設置され、クリスマス気分を盛り上げました。



12/10 個性が光るアレンジメント

町の商工会青年部による「クリスマスアレンジメント教室」が、12月10日に交流ステーションでおこなわれました。このイベントは、クリスマス気分をより楽しむためのフラワーアレンジメントを体験するもので、講師は大泉洋一さん（8区）。参加者は、バラなどの花々にクリスマスならではのヒバやコットンなどを加え、それぞれ個性的なアレンジを完成させました。

この日は商工会青年部が交流ステーション前広場に設置したイルミネーションの点灯式もおこなわれ、広場はクリスマスモードに包まれました。



▲11月12日におこなわれた、白熱のかるた取り大会



▲11月28日、商工会女性部から町に寄贈されました

11/28 遊びながら町の「じょーどご」発見!

大江町商工会女性部が中心となって制作した「大江町のじょーどごかるた」が完成し、町内の小中学校、保育所、公民館などに寄贈されました。このかるたは、大江町について多くの人に楽しみながら知ってもらおうと作られたもので、町内の観光地や特産品、伝統文化などの写真を用いたA4サイズの取り札と、方言を織り交ぜたユーモラスな読み札が特徴です。11月12日には、このかるたを使用したかるた取り大会が歴史民俗資料館で開催され、多くの小学生が参加して白熱した勝負を繰り広げました。

また、遊びやすいサイズの縮小版かるたが、町民新年会で販売されるほか、町内の商店などでも順次発売予定となっています。



▲読み札がはがきサイズの縮小版



11/14 やっぱり「んまっ!」

山形テレビ企画の「山形ふるさとCM大賞」公開審査会が、11月14日に山形テルサアプローズでおこなわれました。県内35市町村が大賞を目指して作った「ご当地CM」が集うこの企画も、今年で18回目。本町では、今回も職員によるプロジェクトチームを編成し、町産の「やまがた地鶏」をテーマにしたCMを制作しました。

作品は、左沢高校1年生の東海林真奈さん(5区)が主演を演じ、青春のひとコマをイメージした映像となっています。作品と公開審査会の模様は、12月18日に特別番組として放映されました。



12/10 山の幸と職人技の融合

「2017若返りランチと小新そばのコラボレーション」が、12月10日に小倉交流館で開催されました。期間限定で若返りランチを提供する「おぐら亭」と、「新そばまつり」でおなじみの小新そばが食の共演を果たすこのイベントも、今年で3年目。今回も、ヤーコンの天ぷらなど地元で採れた山の幸と、出羽かおり石臼挽き十一そばが100食限定で提供されました。

この日は開店直後から多くのお客さんが訪れ、地域の垣根を越えた1日限りの味覚のコラボを楽しんでいました。

思い出の まいぞうひん My藏品

No.27

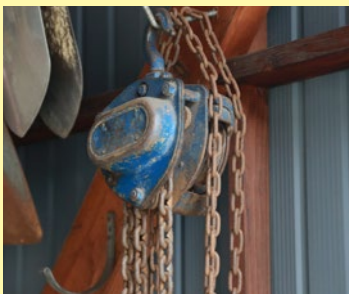
皆さんの心に残る思い出の品を、それにまつわるエピソードとともにご紹介します。



▲菊地さんが40年以上にわたって使っている剪定ばさみ



▲毎年、師走は門松作りで大忙しの菊地さん



▲庭木などを移す際に使用していたチェーンブロック

庭師の仕事をしたのは、40代のころ。道具といえば、なたの刃は毎朝自分で研いで使っていましたね。また、庭木を運んだり、木の根を抜いたりするときにワイヤーを使うのですが、昔は先端が輪っかになるように、まっすぐなワイヤーを自分で編み直していたんです。

重機がなかったころは、庭木を持ち上げるためにチェーンブロックという道具も使っていました。今では特別な道具はあまり使わなくなりましたが、剪定ばさみは古くなった柄の部分を取り換えて、今も愛用しています。

(藤田 菊地満州男)

★皆さんの思い出の詰まった「宝物」はありませんか？
懐かしい写真、長年愛用している道具、旅先で購入した記念の品など、なんでも結構です。
総務課情報システム係 ☎(62)2187まで、ぜひお知らせください。

戸籍のまど

11月21日～12月15日受付分

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
9区	佐竹はま子	(65)
小漆川	菊地かつゑ	(97)
貫見	稲村久仁雄	(69)
貫見	松田 良吉	(77)
藤田	小関政之助	(96)
小見	伊藤 しげ	(95)
市の沢	鈴木 昌直	(87)
藤田	柏倉 繁義	(72)
小漆川	公平 竹弥	(91)
若原	鈴木芳太郎	(92)



あっという間に新年です。近年は、あれよあれよという間に暦が進み、気がつけば年が明け、そして正月もいつの間にか終わり……というパターンが続いています。時間に追われるどころか、時間に置いていかれそうな気分になることもしばしばですが、一日一日を大事にしながら過ごしていきたいものです。今年もよろしくお願いたします。(伊藤智治)